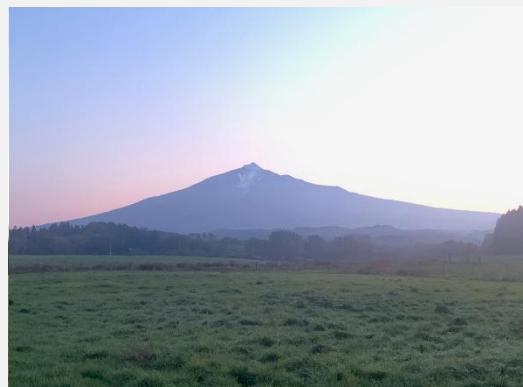


令和7年度 青森県産業技術センター畜産研究所 和牛改良技術部 あんない



青森県の基幹種雄牛



(地独) 青森県産業技術センター 畜産研究所 和牛改良技術部

〒038-2816 青森県つがる市森田町森田月見野558

電話0173-26-3153 FAX0173-26-3205

https://www.aomori-itc.or.jp/soshiki/nourin_chikusan/gaiyou/wagyu_improvement.html



あおもりの未来、技術でサポート

業務の概要

種雄牛の検定・選抜

種雄牛の繋養



種雄牛の引き出し



種雄牛の繋留



直接検定合格牛の立ち運動



若雄の調教

種雄牛の検定



体尺測定

現場後代検定牛の能力評価



産子の肥育・枝肉調査

凍結精液製造

精液採取、凍結精液製造、販売供給



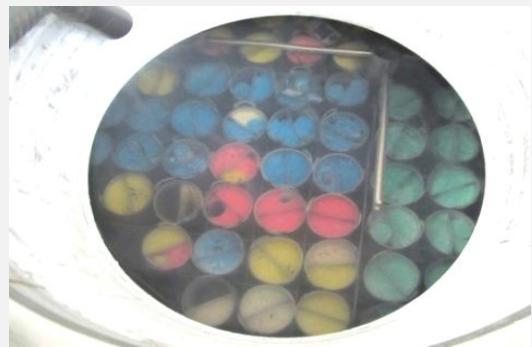
種雄牛からの採精



精子の活力検査



ストロー精液管充填機



液体窒素での凍結精液保管

牛の繁殖管理

優良繁殖牛の飼養、種雄候補牛の生産



繁殖雌牛の放牧



連動スタンチョンでの給餌



誕生直後の子牛

試験研究

ゲノム育種価解析による県産和牛の遺伝的改良に関する試験研究開発 (R6~)

和牛ゲノムデータベース駆動型未診断疾患解明 (R5~)

沿革

昭和39年	4月	青森県畜産指導所創設（肉牛、乳牛、豚）
昭和53年	5月	本県独自方式による和牛種雄牛産肉能力直接検定開始
昭和62年	4月	畜産指導所及び養鶏指導所を統合し、畜産試験場森田支場に改組（肉畜科、養鶏科）
昭和62年	6月	乳牛部門を廃止
昭和62年	12月	和牛種雄牛産肉能力間接検定開始
昭和63年	6月	全和方式による和牛種雄牛産肉能力直接検定開始
平成4年	6月	兵庫県等からの種雄牛導入開始（～平成7年度 計10頭）
平成7年	4月	畜産基地建設事業着工（～平成10年3月竣工）
平成8年	3月	養豚部門を廃止
平成10年	3月	「雪国」号を本県初の基幹種雄牛に指定 (平成11年度「第1花国」及び「福安」、12年度「照神12」、14年度「国栄97」 20年度「第2花国」、23年度「優福栄」、24年度「光茂」、26年度「平安平」 29年度「春待白清」、30年度「広清」、令和2年度「忠光安」 3年度「幸紀花」及び「寿優福」、5年度「亀花邦」、6年度「第1久桜」)
平成13年	4月	畜産試験場和牛改良技術センターに改称し、養鶏科を廃止
平成15年	4月	青森県農林総合研究センター畜産試験場和牛改良技術センターに改組
平成21年	4月	地方独立行政法人青森県産業技術センター畜産研究所和牛改良技術部に改組

土地区分	
区分	面積(ha)
建物敷地	4.2
放牧地・採草地	26.1
山林・原野等	5.8
計	36.1

肉牛飼養頭数(R7.4.1)		
区分	頭数	備考
種雄牛	6	第1久桜、亀花邦、寿優福、幸紀花、忠光安、広清
後代検定待機牛	12	能力検定中の種雄牛
直接検定牛	12	種雄牛候補
繁殖雄牛	49	あおはな系主体
育成・子牛	26	
肥育ほか	32	後代検定調査牛
計	137	

組織体制	
部長	
↓	
研究員3名、主査1名	
↓	
技能員9名、非常勤事務員1名	

